

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 11 月 11 日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0177600251		
法人名	有限会社 ソラ		
事業所名	グループホーム 笑顔の村 三番地		
所在地	石狩市花川南7条3丁目42番地 (電 話) 0133-72-6030		
評価機関名	有限会社 ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3		
訪問調査日	平成20年11月6日	評価確定日	平成21年1月8日

【情報提供票より】 ( 20年10月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成16年 1月 21日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤 5人 非常勤 5人 常勤換算 7人	

### (2) 建物概要

建物構造	木造モルタル 造り	
	2 階建ての	2 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	34,600 円	その他の経費(月額)	暖房費 6,000 円
敷 金	有 ( 円 ) ・ (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有 ( 円 ) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 400 円
	夕食	400 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 1,200 円		月額 35,000円

### (4) 利用者の概要 ( 10月 1日現在 )

利用者人数	8 名	男性 1 名	女性 7 名
要介護1	1 名	要介護2	1 名
要介護3	4 名	要介護4	1 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 81.5 歳	最低 76 歳	最高 89 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	花川病院、ラビット歯科、みき内科クリニック
---------	-----------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

既存の店舗つき住宅を改造したホームである。1階の医院はホームの協力医療機関となっており、日中の急変時にも対応できるため利用者は安心して暮らしている。住宅改造型なので使い勝手の悪い部分もあったが、スタッフの手作業で暮らしやすいホームに改造した箇所が随所に見られる。利用者は就寝時以外は居間で過ごすことが多く、笑いの絶えない安らぎの場所となっている。多くのスタッフが開設当初より勤務しており、利用者と共に昔なじみのような仲の良い家族的な雰囲気が見られる。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価での改善課題の地域との付き合いは、ホーム行事への積極的な参加の取り組みが既になされている。ほかの課題の職員を育てる取り組みについては、職員研修を継続して取り組むことを期待したい。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全ての職員に自己評価を項目分担して検討し、それを管理者がまとめて再度話し合いをしながら、完成されたものが出来上がっている。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は既に9回開催されており、隔月に順調に進めている。会議の議事録も協議内容や発言者の意見が詳しく書かれている。地域住民や包括センターの出席者からも積極的に意見をいただいております。地域からの協力や理解をいただけるよう、活発な会議がなされている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>ホーム便りは毎月の請求書郵送時とは別に、その月の行事内容や近況報告を写真を添えて個別に郵送しており、入居者の家族に限りホームページからも暮らしぶりがわかるように発信している。家族とスタッフは遠慮のない話しやすい関係にあることから、来訪時に積極的に話をしていく。</p>
重点項目③	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>ホーム前での焼肉パーティや避難訓練にも参加していただいております。地区のボランティアの受入れもあり、居間に作品を飾るなど、交流を楽しみにしている様子が見られる。地区のほかのホームとも見学や催し物への参加など、地域と連携する取り組みにも積極的に取り組んでいる。</p>

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホーム独自の理念が居間に掲示されており、従前の理念に加え地域の中で、互いに支え合う関係を大事にするよう明示している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎月のミーティングや日々の申送り時に理念を職員全員の共有として、利用者のケアサービスに実践するよう努めている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会へ加入しており、町内会行事参加や地区の老人会に参加したり、各種ボランティアの来訪などもある。ホームでの焼肉パーティにも住民の方々の参加があり交流が図られている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価表は職員全員が分担しながら作成し、管理者がまとめ、再度ミーティングなどで検討しながら、最終的に集約したもので作成されている。		

石狩市 グループホーム笑顔の村三番地

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヵ月毎に包括支援センター、地域住民、家族代表などをメンバーとして開催している。会議では毎回活発な意見が出されており、ケアサービスに反映させるように努めている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の連絡会議に出席しており、担当窓口とも連絡頻度は多く、積極的に相談や情報収集に努め、情報を役立てるよう取り組んでいる。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	請求書とは別に毎月送付するホーム便りに近況報告や写真を同封してホームでの様子を知らせている。家族限定で閲覧できるインターネットのホームページでも多くの写真や近況などが見られるようになっている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホームの受付に意見箱を設置し、家族来訪時に意見要望を把握するように努めている。家族と職員も話しやすい環境であり、要望などが出たときは、ミーティングで検討し反映している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の定着率が良く開設当初からの職員が多いが、退職や異動があった際には、利用者には十分配慮し、不安を与えないよう努力している。		

石狩市 グループホーム笑顔の村三番地

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営法人内での研修に参加し、ミーティングで内容を周知しているが、外部への積極的な研修参加が少なく、研修内容の保管も少ない。職員が個人的に出席して外部への研修は休日を利用している。	○	人材育成のため外部研修は年度計画を立て、職員全員が順番に出席できるような配慮を望みたい。研修内容に応じてホームが受講料の負担や勤務時間内の受講とするなどの検討を期待したい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内のグループホームと相互訪問したり、ほかのホームの催し物に参加しており、ほかの業者との連携が進められている。		
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ホーム入居前に、出来るだけ利用者に見学に来ていただき、ホームに少しでも馴染んでいただくようにしている。事前に見学などに来ていただけない利用者には、ホームから出向き顔馴染みになって、安心してホームへ入居できるよう配慮している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者の出来ることを見守り、出来ないことは支えながら支援している。利用者の経験から料理や子育ての話を伺い、ともに支え合いながら過ごすよう努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	普段の利用者との会話や家族から情報収集を行ない、思いや意向を把握するようにしている。把握が困難な時は、利用者をよく観察し支援している。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ホームに介護支援専門員がおり、家族や利用者話し合い、相談後に職員全員のカンファレンスを行ない、介護計画を検討している。作成した介護計画は家族に説明して了解を得ている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヵ月毎の介護計画を作成し、定期的に見直しを実施している。利用者に急変が発生した場合は、医療機関とも相談しながら、その都度計画の見直しを行なっている。		
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	理美容などへの送迎や、かかりつけ医への送迎、誕生日に利用者一人ひとりに対応した外食など、柔軟な支援がなされている。		

石狩市 グループホーム笑顔の村三番地

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者への医療体制は隔週の往診があり、協力医療機関とは24時間体制で連絡が取れる関係である。家族や利用者の希望により従前のかかりつけ医への受診もしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	既にターミナルケアまでの対応をしており、重度化への対応は職員全員の共有となっている。重度化に向けた指針の文書も用意されている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	家族的な雰囲気なかで、利用者の誇りを損ね無いよう十分に注意し、話しかけも穏やかである。個人情報の取扱いもプライバシーに配慮され、利用者の目に届かない場所に置かれている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースで日々の役割や楽しみごとを持ち、自分らしく暮らしている。職員も利用者に合わせて支援を行なっている。		

石狩市 グループホーム笑顔の村三番地

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員がともに食事準備や後片付けを行なっている。昼食は利用者の食事介助をしながら、一緒に食べており、楽しく食事が取れるよう支援している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の入浴は、月曜から金曜までの午後の時間帯に行かない、一人週二回の入浴を行なっている。入浴を嫌がる利用者には、話題を変えたり時間をおいて再度入浴を促し、気分を変えて入浴できるような支援をしている。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者は食事準備、後片付け、日めくり、生け花の趣味やボランティアによる書道などの楽しみごとを持っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者は日常的にホーム周辺や近隣の公園、コンビニへ散歩しており、大きなスーパーへ車両で出かけるなど、頻繁に外出支援をしている。冬季間も行事を作って外出する計画を立てている。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホーム正面玄関は夜間帯のみ施錠している。玄関は鈴がかかっている、開閉時に音が鳴るだけであるが、利用者の出入りは職員の見取りで把握している。		

石狩市 グループホーム笑顔の村三番地

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難・災害訓練は、年に自主訓練が1回と消防署の協力を得ながら1回実施しており、計年2回行なっている。次回の避難訓練は、近隣住民の方々の協力を求めて実施する予定になっている。		
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の栄養摂取や水分確保を記録しており、一人ひとりに応じた食事提供がなされている。食事の摂取カロリーは、おおよそ1500～1600カロリーで作られている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホームは、住宅改造型であるが、職員の手による改修により、グループホームとしての機能を十分に備えており、総体的に明るく清潔感がある。居間など共有スペースは季節の飾りや利用者の作品が飾られ、家族的雰囲気がある。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	住宅改造型なので居室の広さはまちまちであるが、居室は利用者がベットや昔なじみの物品、好みの調度品を自由に持ち込み、ゆったりと心地よく暮らしている。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。